

明治大学大学院 政治経済学研究科 特別講義

21世紀の社会システムとライフスタイル —共生と「生活の質」で読み解く—

12/11(金)

15:30～17:00

Zoomによるオンライン開催



学内外を問わずご参加いただけます【事前予約必須】
参加をご希望の方はQRコードよりお申込みください。

【事前予約期限】
12/7(月) 15:00

講師：三重野 卓（山梨大学名誉教授）

東京大学文学部卒業、同大学院社会学研究科単位取得退学、博士（文学、北海道大学）。
山梨大学教育人間科学部、同大学院教育学研究科教授などを経て、現在、山梨大学名誉教授、
福祉社会学会顧問。

（主要著書）

『福祉と社会計画の理論—指標・モデル構築の視点から』（白桃書房、1984年）

『「生活の質」と共生（増補改訂版）』（白桃書房、2004年）

『福祉政策の社会学—共生システム論への計量分析』（ミネルヴァ書房、2010年）

『講座・福祉社会 第12巻（グローバル化のなかの福祉社会）』（共編、ミネルヴァ書房、2009年）

『福祉社会学ハンドブック』（福祉社会学会編、編集代表、中央法規、2013年）

【講義概要】

1970年代、高度経済成長、脱工業化、成熟化の時代状況の中で、「生活の質」が注目された。それから40年、「生活の質」の一要素としての幸福感が、脱成長、そして脱物質志向の中で、注目を集めている。一方、1990年代、グローバル化、福祉国家の脆弱化、コミュニティの崩壊などにより、諸外国では関係性についての用語（社会関係資本、社会的包摂）が普及し、わが国では共生社会論が提唱されている。

本講演では、第一に、共生の考え方について再考し、第二に、「生活の質」との関係に検討を加える。第三に、共生のためのガバナンス（共治）の在り方を定式化し、第四に、人びとの共生的関係、システム、その表層と深層（無意識領域）も射程に入れて分析枠組みを提示する。

お問い合わせ先】明治大学大学院事務室
☎：03-3296-4150（政治経済学研究科担当）
✉：seikeiken@mics.meiji.ac.jp



明治大学大学院